

9 流入・流出口（従業地・通学地）

注）平成7年から平成27年国勢調査の従業地・通学地による人口は、年齢不詳の者を除いて集計されているため、ここで用いる人口は、この本で前述した数値と異なるので、利用にあたっては注意すること。

（1）流入・流出口の概要

昼間人口はわずかながら増加傾向

平成27年国勢調査人口740,822人に、他の市町村から通勤・通学する流入人口71,762人を加え、熊本市から他の市町村に通勤・通学する流出人口55,732人を引いた、いわゆる昼間人口は、756,852人である。これは、国勢調査人口より16,030人多い。また、平成22年の昼間人口より9,547人（増加率1.3%）増加しており、平成2年からの推移をみると、平成17年を除き概ね増加している。

また、流入人口においては、1,142人（増加率1.6%）の増加となった。【表26】

表26 夜間人口、流入・流出口および昼間人口の推移

年次	夜間人口（国勢調査人口）			流入人口		流出口		昼間人口			夜間人口対 昼間人口比 D/A×100
	実数A	増減数	増減率	実数B	増減率	実数C	増減率	実数 D=A+B-C	増減数	増減率	
	人	人	%	人	%	人	%	人	人	%	%
平成2年	626,727	25,360	4.2	66,215	17.6	23,735	28.5	669,207	30,013	4.7	106.8
平成7年	649,638	22,911	3.7	74,450	12.4	31,200	31.5	692,888	23,681	3.5	106.7
平成12年	661,615	11,977	1.8	76,018	2.1	35,977	15.3	701,656	8,768	1.3	106.1
平成17年	668,513	6,898	1.0	73,928	△2.7	44,352	23.3	698,089	△3,567	△0.5	104.4
平成22年	734,474	65,961	9.9	70,620	△4.5	57,789	30.3	747,305	49,216	7.1	101.7
平成27年	740,822	6,348	0.9	71,762	1.6	55,732	△3.6	756,852	9,547	1.3	102.2

注）昭和60年から平成2年までは、流入・流出口には組替の都合上、15歳未満を含まない。

昭和60年から平成2年までは、年齢不詳を含み、平成7年から含まない。

流入人口は71,762人で、平成22年より1,142人（増減率1.6%）の増加

平成27年の流入人口総数の71,762人で通勤・通学者別にみると、通勤者58,004人で構成比80.8%、通学者13,758人で同19.2%となっている。これまでの推移をみると、平成2年以降、通勤者の増減率は減少を繰り返してきたが、平成27年は1.6%とわずかに増加に転じている。また、通学者についても、同じく平成2年以降減少を繰り返してきたが、平成27年においては1.8%と増加に転じた。【表27】

流出口は55,732人、うち51,644人が通勤者

市外へ通勤・通学している流出口は55,732人で、このうち通勤者が51,644人で構成比92.7%を占め、通学者は4,088人（同7.3%）である。平成22年と比較すると、流出する通勤者は1,558人減少し、通学者は499人減少した。

表 27 年次別流入・流出人口の通勤者・通学者

年 次	実数（人）			増減数（人）			増減率（％）		
	総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者
流入人口									
平成2年	66,215	51,339	14,876	9,919	6,533	3,386	17.6	14.6	29.5
7年	74,450	57,621	16,829	8,235	6,282	1,953	12.4	12.2	13.1
12年	75,711	59,830	15,881	1,261	2,209	△ 948	1.7	3.8	△ 5.6
17年	73,928	59,048	14,880	△ 1,783	△ 782	△ 1,001	△ 2.4	△ 1.3	△ 6.3
22年	70,620	57,107	13,513	△ 3,308	△ 1,941	△ 1,367	△ 4.5	△ 3.3	△ 9.2
27年	71,762	58,004	13,758	1,142	897	245	1.6	1.6	1.8
流出人口									
平成2年	23,735	21,847	1,888	5,266	4,611	655	28.5	26.8	53.1
7年	31,200	29,055	2,145	7,465	7,208	257	31.5	33.0	13.6
12年	35,977	33,750	2,227	4,777	4,695	82	15.3	16.2	3.8
17年	44,352	42,050	2,302	8,375	8,300	75	23.3	24.6	3.4
22年	57,789	53,202	4,587	13,437	11,152	2,285	30.3	26.5	99.3
27年	55,732	51,644	4,088	△ 2,057	△ 1,558	△ 499	△ 3.6	△ 2.9	△ 10.9

注) 昭和60年から平成2年までは、流入・流出人口には組替の都合上、15歳未満を含まない。
昭和60年から平成2年までは、年齢不詳を含み、平成7年から含まない。

図 18 流入人口の推移

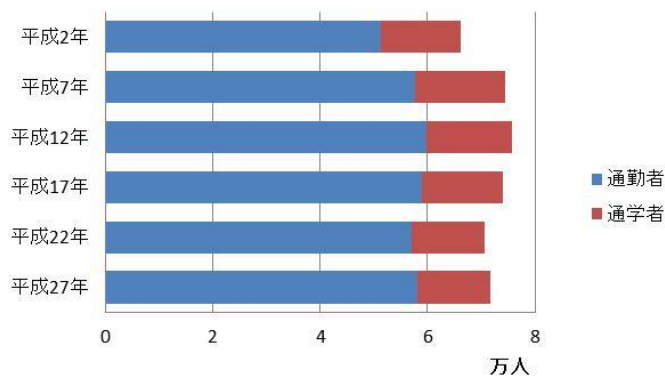
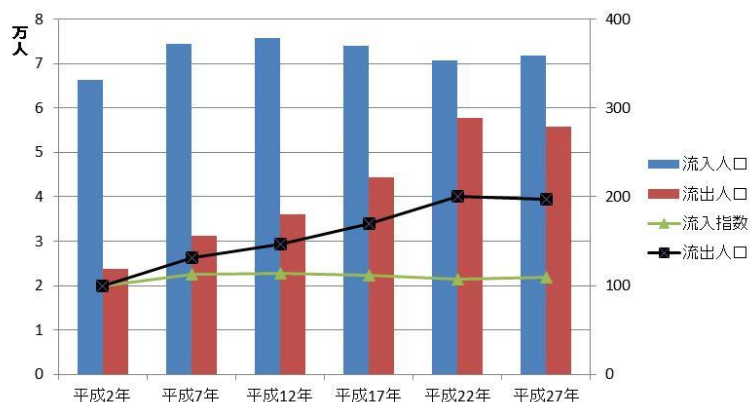


図 19 流入・流出人口の推移（平成2年～27年）



市内就業者の 17.3%、市内通学者の 25.9%が市外常住者

市内で従業・通学する者 387,012 人のうち、315,723 人（81.6%）が市内常住者であり、市外常住者は 71,289 人（18.4%）となっている。

就業・通学の別では、市内就業者の 17.3%、市内通学者の 25.9%が市外に常住する者である。平成 2 年からの推移をみると、就業者、通学者ともに市外常住者の割合が増加傾向となっている。【表 28】

表 28 本市に従業、通学する者の常住地別年次別 15 歳以上の従業者・通学者数及び構成比

年 次	本市に従業、通学の者			常住地別構成比（%）			就業者、通学者別構成比（%）		
	総数	市内常住者	市外常住者	総数	市内常住者	市外常住者	総数	市内常住者	市外常住者
	組 替								
総数									
平成2年	387,152	320,937	66,215	100.0	82.9	17.1	100.0	100.0	100.0
7年	410,172	336,123	74,049	100.0	81.9	18.1	100.0	100.0	100.0
12年	404,047	328,336	75,711	100.0	81.3	18.7	100.0	100.0	100.0
17年	388,975	315,404	73,571	100.0	81.1	18.9	100.0	100.0	100.0
22年	390,309	320,087	70,222	100.0	82.0	18.0	100.0	100.0	100.0
27年	387,012	315,723	71,289	100.0	81.6	18.4	100.0	100.0	100.0
就業者									
平成2年	319,796	268,457	51,339	100.0	83.9	16.1	82.6	83.6	77.5
7年	339,155	281,534	57,621	100.0	83.0	17.0	82.7	83.8	77.8
12年	338,949	279,119	59,830	100.0	82.3	17.7	83.9	85.0	79.0
17年	331,639	272,591	59,048	100.0	82.2	17.8	85.3	86.4	80.3
22年	336,844	279,737	57,107	100.0	83.0	17.0	86.3	87.4	81.3
27年	335,632	277,628	58,004	100.0	82.7	17.3	86.4	87.9	81.4
通学者									
平成2年	67,359	52,480	14,876	100.0	77.9	22.1	17.4	16.4	22.5
7年	71,017	54,589	16,428	100.0	76.9	23.1	17.3	16.2	22.2
12年	65,098	49,217	15,881	100.0	75.6	24.4	16.1	15.0	21.0
17年	57,336	42,813	14,523	100.0	74.7	25.3	14.7	13.6	19.7
22年	53,465	40,350	13,115	100.0	75.5	24.5	13.7	12.6	18.7
27年	51,380	38,095	13,285	100.0	74.1	25.9	13.3	12.1	18.6

市内に常住する就業者の 16.1%、通学者の 9.5%が市外に従業・通学

市内に常住する就業・通学者 372,868 人のうち、57,145 人（15.3%）が市外に通勤・通学している。これを就業・通学者別にみると、市内常住の就業者 330,797 人のうち、市外に通勤する者は 53,169 人（16.1%）であり、市外に通学する者は、市内常住の通学者 42,071 人のうち 3,976 人（9.5%）である。

市外に流出する就業者・通学者について平成 2 年からの推移をみると、就業者・通学者ともに流出する人の割合が増加し、平成 2 年に就業者 7.5%、通学者 3.5%であったものが、平成 27 年には、就業者 16.1%、通学者 9.5%に増加した。【表 29】

表 29 本市に常住する者の従業、通学地別年次別 15 歳以上の就業者・通学者数及び構成比

年 次	本市に常住する従業者、通学者			常住地、通学地別構成比（％）			就業者、通学者別構成比（％）		
	総 数	市内従 業・通学	市外従 業・通学	総 数	市内従 業・通学	市外従 業・通学	総 数	市内従 業・通学	市外従 業・通学
総数									
平成2年	344,672	320,937	23,735	100.0	93.1	6.9	100.0	100.0	100.0
7年	367,231	336,123	31,108	100.0	91.5	8.5	100.0	100.0	100.0
12年	364,230	328,336	35,894	100.0	90.1	9.9	100.0	100.0	100.0
17年	359,651	315,404	44,247	100.0	87.7	12.3	100.0	100.0	100.0
22年	377,253	320,087	57,166	100.0	84.8	15.2	100.0	100.0	100.0
27年	372,868	315,723	57,145	100.0	84.7	15.3	100.0	100.0	100.0
就業者									
平成2年	290,304	268,457	21,847	100.0	92.5	7.5	84.2	83.6	92.0
7年	310,589	281,534	29,055	100.0	90.6	9.4	84.6	83.8	93.4
12年	312,869	279,119	33,750	100.0	89.2	10.8	85.9	85.0	94.0
17年	314,641	272,591	42,050	100.0	86.6	13.4	87.5	86.4	95.0
22年	332,939	279,737	53,202	100.0	84.0	16.0	88.3	87.4	93.1
27年	330,797	277,628	53,169	100.0	83.9	16.1	88.7	87.9	93.0
通学者									
平成2年	54,368	52,480	1,888	100.0	96.5	3.5	15.8	16.4	8.0
7年	56,642	54,589	2,053	100.0	96.4	3.6	15.4	16.2	6.6
12年	51,361	49,217	2,144	100.0	95.8	4.2	14.1	15.0	6.0
17年	45,010	42,813	2,197	100.0	95.1	4.9	12.5	13.6	5.0
22年	44,314	40,350	3,964	100.0	91.1	8.9	11.7	12.6	6.9
27年	42,071	38,095	3,976	100.0	90.5	9.5	11.3	12.1	7.0

（２）市郡・町村別流入・流出口**流入人口は、上益城郡の 14,220 人（21.3％）が最高**

市外から熊本市へ通勤・通学する 15 歳以上の流入人口 66,632 人を常住する市郡別にみると、上益城郡が 14,220 人で全体の 21.3％を占め、次いで合志市の 11,070 人（16.6％）、菊池郡の 9,567 人（14.4％）の順になっており、いずれも熊本市に隣接した郡市で、この 1 市 2 郡で全流入人口の 52.3％を占めている。【表 30】

市町村別に詳しくみると、熊本市への 15 歳以上の流入者数が最も多いのは、合志市の 11,070 人で、次いで益城町の 7,339 人、菊陽町の 6,594 人、宇土市の 5,913 人、宇城市 5,840 人の順になっている。

依存度は、合志市の 37.5％が最高

本市以外の市・郡に常住する就業・通学者のうち、熊本市への流入人口の割合をその市郡の熊本市に対する通勤・通学者の依存度とすると、平成 27 年は、平成 22 年に引き続き合志市の 37.5％が最高となった。これは、合志市の 15 歳以上の就業者・通学者のうち、およそ 3 人に 1 人以上は、熊本市へ通勤か通学していることになる。以下、依存度の高い市郡としては、上益城郡の 31.3％、宇土市の 30.6％、菊池郡の 24.5％の順となっている。

市町村別に詳しくみると、嘉島町の 44.4％を最高に、益城町の 42.6％、合志市の 37.5％、御船町の 31.7％、菊陽町の 31.0％の順となっている。

表 30 常住市郡別就業者・通学者および熊本市へ流入する就学者・通学者

常住市町村		平成27年				平成22年					
		15歳以上の就業者・通学者A		うち本市への流入		依存度 B/A×100	15歳以上の就業者・通学者A		うち本市への流入		依存度 B/A×100
				総数B	構成比%				総数B	構成比%	
		人	人	%	%	人	人	%	%		
総数		509,680	66,632	100.0	13.1	547,246	67,407	100.0	11.4		
市計		329,664	38,154	57.3	11.6	364,248	38,429	57.0	10.6		
八代市		65,804	3,236	4.9	4.9	65,778	3,169	4.7	4.8		
人吉市		17,070	112	0.2	0.7	17,906	92	0.1	0.5		
荒尾市		25,050	651	1.0	2.6	25,495	775	1.1	3.0		
水俣市		12,119	127	0.2	1.0	12,558	86	0.1	0.7		
玉名市		34,838	3,569	5.4	10.2	36,049	3,667	5.4	10.2		
山鹿市		27,801	2,855	4.3	10.3	29,092	3,075	4.6	10.6		
菊池市		26,018	3,454	5.2	13.3	26,758	3,789	5.6	14.2		
宇土市		19,303	5,913	8.9	30.6	19,290	5,770	8.6	29.9		
上天草市		13,021	438	1.1	3.4	13,928	421	0.6	3.0		
宇城市		31,334	5,840	8.8	18.6	32,152	5,763	8.5	17.9		
阿蘇市		14,477	700	1.1	4.8	15,078	780	1.2	5.2		
天草市		40,282	189	0.3	0.5	42,034	110	0.2	0.3		
合志市		29,547	11,070	16.6	37.5	28,130	10,932	16.2	38.9		
群計		180,016	28,478	42.7	15.8	182,998	28,978	43.0	15.8		
下益城郡		2,899	635	1.0	21.9	5,568	896	1.3	27.7		
玉名郡		21,190	1,585	2.4	7.5	22,551	1,675	2.5	6.4		
菊池郡		39,126	9,567	14.4	24.5	36,031	9,445	14.0	22.3		
阿蘇郡		21,079	1,656	2.5	7.9	21,687	1,705	2.5	30.8		
上益城郡		45,425	14,220	21.3	31.3	45,897	14,455	21.4	7.6		
八代郡		6,342	571	0.9	9.0	6,644	582	0.9	29.3		
葦北郡		10,776	105	0.2	1.0	11,527	100	0.1	6.8		
球磨郡		29,370	131	0.2	0.4	29,044	115	0.2	0.9		
天草郡		3,809	8	0.0	0.2	4,049	5	0.0	0.2		

流出人口は、上益城郡への 11,443 人が最高

熊本市から市外への通勤・通学する 15 歳以上の流出人口 55,519 人の従業地・通学地を市郡別にみると、上益城郡の 11,443 人（流出人口総数に対する割合 20.6％）を最高に、以下、菊池郡 10,529 人（同 19.0％）、合志市 6,692 人（同 12.1％）の順になっている。

平成 22 年と比較して増加数が著しいのは、上益城郡の 1,401 人（増減率 14.0％）、菊池郡 1,373 人（同 15.0％）などである。【表 31】

表 31 従業地・通学地別熊本市からの 15 歳以上流出人口

従業地 通学地	平成27年		平成22年		平成22年～27年		従業地 通学地	平成27年		平成22年		平成22年～27年	
	実数	構成比	実数	構成比	増減数	増減率		実数	構成比	実数	構成比	増減数	増減率
	人	%	人	%	人	%		人	%	人	%	人	%
総 数	55,519	100.0	47,810	100.0	7,709	16.1							
八 代 市	1,959	3.5	1,667	3.5	292	17.5	下 益 城 郡	293	0.5	258	0.5	35	13.6
人 吉 市	171	0.3	124	0.3	47	37.9	玉 名 郡	730	1.3	714	1.5	16	2.2
荒 尾 市	334	0.6	274	0.6	60	21.9	菊 池 郡	10,529	19.0	9,156	19.2	1,373	15.0
水 俣 市	126	0.2	75	0.2	51	68.0	阿 蘇 郡	1,483	2.7	1,347	2.8	136	10.1
玉 名 市	2,500	4.5	2,194	4.6	306	13.9	上 益 城 郡	11,443	20.6	10,042	21.0	1,401	14.0
山 鹿 市	2,315	4.2	2,224	4.7	91	4.1	八 代 郡	93	0.2	72	0.2	21	29.2
菊 池 市	3,809	6.9	3,484	7.3	325	9.3	葦 北 郡	95	0.2	83	0.2	12	14.5
宇 土 市	2,433	4.4	2,173	4.5	260	12.0	球 磨 郡	67	0.1	41	0.1	26	63.4
上天草市	202	0.4	172	0.4	30	17.4	天 草 郡	14	0.0	6	0.0	8	133.3
宇 城 市	3,575	6.4	3,299	6.9	276	8.4							
阿 蘇 市	735	1.3	626	1.3	109	17.4	県内不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
天 草 市	205	0.4	198	0.4	7	3.5	他 県 計	5,716	10.3	3,213	6.7	2,503	77.9
合 志 市	6,692	12.1	6,368	13.3	324	5.1							

(3) 年齢別流入・流出口

流入人口は15～19歳が最も多い

流入人口 71,762 人を年齢階級別にみると、通学者の年齢である 15～19 歳が最も多く 9,931 人で、流入人口の 13.8%を占めている。次いで 20～24 歳の 7,912 人（構成比 11.0%）、40～44 歳の 7,269 人（同 10.1%）、35～39 歳の 7,098 人（同 9.9%）、45～49 歳の 6,394 人（同 8.9%）で、この 5 階級で全体の 53.7%を占めている。【表 32】

流出人口は40～44歳が最も多い

流出人口 55,732 人を年齢構成別にみると、40～44 歳が 7,536 人で、流出人口の 13.5%を占めている。次いで 35～39 歳が 6,606 人（構成比 11.9%）、45～49 歳が 6,491 人（同 11.6%）で、この 3 階級で全体の 37%を占めている。

表 32 従業地・通学地別熊本市からの 15 歳以上流出口

年齢（5歳階級）	流入人口		流出人口	
	従業者・通学者 人	構成比 %	従業者・通学者 人	構成比 %
総 数	71,762	100.0	55,732	100.0
15 歳 未 満	473	0.7	213	0.4
15 ～ 19	9,931	13.8	3,021	5.4
20 ～ 24	7,912	11.0	3,916	7.0
25 ～ 29	5,538	7.7	4,705	8.4
30 ～ 34	6,276	8.7	5,713	10.3
35 ～ 39	7,098	9.9	6,606	11.9
40 ～ 44	7,269	10.1	7,536	13.5
45 ～ 49	6,394	8.9	6,491	11.6
50 ～ 54	6,267	8.7	5,986	10.7
55 ～ 59	6,147	8.6	5,207	9.3
60 ～ 64	5,100	7.1	3,762	6.8
65 ～ 69	2,509	3.5	1,800	3.2
70 ～ 74	618	0.9	531	1.0
75 ～ 79	177	0.2	153	0.3
80 ～ 84	38	0.1	61	0.1
85 歳 以 上	15	0.0	31	0.1
(再掲)				
65 歳 以 上	3,357	4.7	2,576	4.6
65 ～ 74	3,127	4.4	2,331	4.2
75 歳 以 上	230	0.3	245	0.4

（４）流入・流出人口の産業別構成

流入人口のうち就業者 58,004 人の産業別構成は、卸売業・小売業の 10,430 人（構成比 18.0％）を最高に、医療・福祉の 9,590 人（同 16.5％）、製造業の 6,063 人（同 10.5％）と続いている。

これを産業 3 部門別に集約すると、第 1 次産業は 491 人（同 0.8％）、第 2 次産業は 11,813 人（同 20.4％）、第 3 次産業は 45,397 人（同 78.3％）となっている。【表 33】

流出人口のうち就業者の産業は 13,042 人で最も多い

熊本市から流出している就業者 53,169 人の産業別構成は、製造業の 13,042 人（構成比 24.5％）を最高に、卸売業・小売業の 7,880 人（同 14.8％）、医療・福祉の 7,583 人（同 14.3％）と続いている。

なお、製造業、卸売業・小売業、医療・福祉の 3 産業だけで、流出している就業者の 53.6％を占めている。

表 33 産業（大分類）別就業者の流入・流出人口

産 業（大分類）					流入人口		流出人口	
					実数	構成比	実数	構成比
					人	%	人	%
総 数					58,004	100.0	53,169	100.0
第 1 次 産 業					491	0.8	818	1.5
農 林 業					475	0.8	800	1.5
漁 業					16	0.0	18	0.0
第 2 次 産 業					11,813	20.4	16,560	31.1
鉱 業， 採 石 業， 砂 利 採 取 業					7	0.0	11	0.0
建 設 業					5,743	9.9	3,507	6.6
製 造 業					6,063	10.5	13,042	24.5
第 3 次 産 業					45,397	78.3	34,965	65.8
電 気・ガ ス・熱 供 給・水 道 業					310	0.5	241	0.5
情 報 通 信 業					1,556	2.7	938	1.8
運 輸 業， 郵 便 業					2,984	5.1	3,638	6.8
卸 売 業， 小 売 業					10,430	18.0	7,880	14.8
金 融 業， 保 険 業					1,818	3.1	1,015	1.9
不 動 産 業， 物 品 賃 貸 業					1,129	1.9	576	1.1
学 術 研 究， 専 門・技 術 サ ー ビ ス 業					2,057	3.5	1,255	2.4
宿 泊 業， 飲 食 サ ー ビ ス 業					2,559	4.4	1,648	3.1
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業， 娯 楽 業					2,181	3.8	1,558	2.9
教 育， 学 習 支 援 業					3,126	5.4	3,204	6.0
医 療， 福 祉					9,590	16.5	7,583	14.3
複 合 サ ー ビ ス 事 業					496	0.9	832	1.6
サ ー ビ ス 業（他 に 分 類 さ れ な い も の）					4,084	7.0	2,216	4.2
公 務（他 に 分 類 さ れ る も の を 除 く）					3,077	5.3	2,381	4.5
分 類 不 能 の 産 業					303	0.5	826	1.6

(5) 市内就業者の産業別構成

流入・流出による純増加就業者数は、卸売業・小売業の2,550人が最も多い

熊本市への流入就業者と市外への流出就業者の差4,835人が、市内純増加就業者となる。その内訳をみると、卸売業・小売業の2,550人が最も多く、次いで建設業の2,236人、医療・福祉の2,007人などとなっている。一方、減少しているのは、製造業の△6,979人が最も多く、次いで運輸業・郵便業、複合サービス事業、農林業などとなっている。【表34】

常住就業者に対する市内就業者の増加数は、建設業の9.2%が最高

市内常住就業者に純増加就業者を加えたものが市内就業者となる。この市内就業者の常住就業者に対する増加率は、建設業の9.2%を最高に、他に分類されないサービス業の8.7%、情報通信業の8.5%の順になっている。

また、流入・流出による就業者の増減があるため、常住就業者と市内就業者の産業別構成比は若干異なっている。第1次産業が2.6ポイント、第2次産業が8.6ポイント減少し、第3次産業は4.0ポイント増加している。第1次産業の減少は農林業によるもので、第2次産業の減少は製造業、鉱業・採石業・砂利採取業、第3次産業の増加は、他に分類されないサービス業、情報通信業、金融業・保険業などによるものである。

表34 産業（大分類）別常住就業者、流入・流出および市内就業者数

産 業（大分類）	常住就業者		流入 就業者B	流出 就業者C	純増加就業者 D=B-C	市内就業者		Aに対する Eの増減率
	実施A	構成比				実数 E=A+D	構成比	
	人	%	人	人	人	人	%	%
総 数	340,861	100.0	58,004	53,169	4,835	345,696	100.0	1.4
第 1 次 産 業	12,472	3.7	491	818	△ 327	12,145	3.5	△ 2.6
農 林 業	11,735	3.4	475	800	△ 325	11,410	3.3	△ 2.8
漁 業	737	0.2	16	18	△ 2	735	0.2	△ 0.3
第 2 次 産 業	55,443	16.3	11,813	16,560	△ 4,747	50,696	14.7	△ 8.6
鉱 業 , 採 石 業 , 砂 利 採 取 業	22	0.0	7	11	△ 4	18	0.0	△ 18.2
建 設 業	24,184	7.1	5,743	3,507	2,236	26,420	7.6	9.2
製 造 業	31,237	9.2	6,063	13,042	△ 6,979	24,258	7.0	△ 22.3
第 3 次 産 業	257,637	75.6	45,397	34,965	10,432	268,069	77.5	4.0
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	1,435	0.4	310	241	69	1,504	0.4	4.8
情 報 通 信 業	7,239	2.1	1,556	938	618	7,857	2.3	8.5
運 輸 業 , 郵 便 業	12,836	3.8	2,984	3,638	△ 654	12,182	3.5	5.1
卸 売 業 , 小 売 業	57,691	16.9	10,430	7,880	2,550	60,241	17.4	4.4
金 融 業 , 保 険 業	9,840	2.9	1,818	1,015	803	10,643	3.1	8.2
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	7,921	2.3	1,129	576	553	8,474	2.5	7.0
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	11,533	3.4	2,057	1,255	802	12,335	3.6	7.0
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	20,610	6.0	2,559	1,648	911	21,521	6.2	4.4
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娯 楽 業	13,179	3.9	2,181	1,558	623	13,802	4.0	4.7
教 育 , 学 習 支 援 業	18,825	5.5	3,126	3,204	△ 78	18,747	5.4	△ 0.4
医 療 , 福 祉	53,806	15.8	9,590	7,583	2,007	55,813	16.1	3.7
複 合 サ ー ビ ス 事 業	3,371	1.0	496	832	△ 336	3,035	0.9	△ 10.0
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	21,427	6.3	4,084	2,216	1,868	23,295	6.7	8.7
公 務 (他 に 分 類 さ れ る も の を 除 く)	17,924	5.3	3,077	2,381	696	18,620	5.4	3.9
分 類 不 能 の 産 業	15,309	4.5	303	826	△ 523	14,786	4.3	△ 3.4